



和気あいあいの懇親会風景

やよい

創刊号

発行責任者

都立向丘高校同窓会

会長 小川力洋

事務局

東京都文京区向丘1-11-18

向丘高校内

811-2022

活性化へ輪投げ

会長 小川 力洋



昭和六十二年四月二十九日定期総会後に星直正前会長から指名推薦を受け、役員総会で承認されお引き受けし今日に至っています。折しも母校は創立四十周年行事

(十一月七日(土)が挙行され、現役全日制PTAが中心となり、定時制PTA・同窓会代表者と共に当新生同窓会役員総出での初仕事でした。当会からも助成させて頂きましたのでご報告申し上げます。卒業してしまつと母校との繋がりが遠のくものです。私自身も定例総会日があろうとも知りようがありませんでした。又仮に校門を潜つたとて、誰一人知る人もなからうと近寄りもしませんでした。ところがそんな私でも、母校でそんな時代の懐古話をして見たという気持は常にありました。

定期総会・懇親会盛會裡に

四月二十九日(土)午後一時から母校体育館にて来賓の先生方十数名、会員百数十名が参加して、スムーズな総会と素敵なお料理とゲーム大会・大抽籤会に満喫しました。

各方面にそれぞれ活躍なさつておいでの仲間が平成元年三月(第四十一期)卒業生まで、合計一万二千六百七十一名となりました。

(註、関係前身校として昭和18年から見て数校があり、資格者ですが、この卒業生総数は昭和24年3月11期生からまとめた数です。)

そこで、本会第一使命でもある統一名簿作成について本年は発刊(名簿作成専門業者委託)を決定致しました。全会員を網羅すべく調整進行中です。住所不明者等についても是非お教え頂きたく、ご協力をお願い致します。

第二には機関誌の発行です。準備不足でもあり、不備な点が多々お気づきかと存じますが、会員各位との関係の一助になればと考へ役員諸氏が発奮して下さい、創刊号発行の運びとなりました。

これを機会に同期会等催行の節は事務局(学校内)又は会長宛にご連絡を頂ければ幸いと存じます。更にもその参加者名簿・写真・報告文(四百字詰一、二枚程度)を送って頂ければ次号へ掲載させて頂きます。又、仲間の活躍報告・ご要望等も他選、自選を問いませんので、原稿・写真を添えてご送付下さい。

会員各位交流の紙面にお育て頂きたく頑張る所存です。各位の熱意に励まされ、次号へのレールを延ばして行きたいと存じます。まずは、定例年次大会を足場として気軽に母校愛にひたりましょう。

【題字は小川会長書です】

「やよい」創刊をお祝いして

校長 新城 昇



向丘高校同窓会誌「やよい」

の創刊を心からお祝いいいたします。小川会長が、向丘高校始まって以来の統一同窓会会員名簿作成に着手されていますが、現職の校長として大変に嬉しく思うと同時に、期待をしています。

さて、四十周年行事には同窓会の全面的支援を頂きました。会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

わが向丘高校の発展は、同窓会の充実なくして語ることはできません。卒業生の活躍を在校生に知らせてやりたいと念願しております。お心掛けをお願いします。

さて、向丘高校の十年先の状況を私なりに展望してみました。

- ① 向丘の立地条件は、将来本郷通りに都営地下鉄新線が走り、三田線・千代田線と3本

の地下鉄が揃い、抜群の交通利便校となる。

- ② 数年後には校舎全面改築の可能性がある。

- ③ 隣地に広大な駐車場があり都に買収と校地拡充の願いをしてきた。厳しい状況ですが、引き続き都には、お願いをしている。

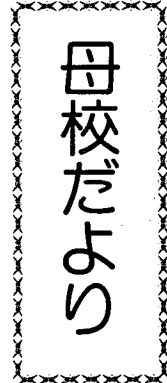
- ④ 特色ある学校として、コンピュータを利用した教育方法を開発してきたが、現在パソコン百台、2教室分で都普通高校のトップを走っている。

特に、④については、先進的な高校として、広く全国に名が知られています。

コンピュータCAI教育では、教師陣も充実し有名になっていきます。

さて、このように特色をもち、交通の要所となる向丘高校を地域社会がほうっておくことはないと思います。パソコン通信・CATVの発達や生涯教育の充実を目指して、地域の文化センターとしての色々な要求がされてくるのではないでしょうか。

様々な境界領域や、新しい世界に、果敢に挑戦をする卒業生の活躍する姿こそ、向丘高校に学ぶ在校生への、最大の栄養となることでしょう。



(一) 職員の異動

本年3月に小野正喜先生が退職されました。先生は本校で25年間数学を担当されました。優しさの中に厳しさをもち常に生徒に接し、その面倒見の良さが印象的でした。転任された先生は次の方々です。生物の岩田義範先生(在職4年)が三田高校へ、世界史の菅徹先生(在職5年)が奈良県立王寺工業高校へ、現代社会の草野秀一先生(在職11年)が北豊島工業高校へ、国語の島田晴子先生(在職9年)が北園高校へ、体育の野村健一先生(在職19年)が第四商業高校へ、日本史の真中幹夫先生(在職9年)が足立西高校へ、それぞれ転任されました。

新しい先生方は、生物の稲垣希先生が目黒高校から、国語の小林奈緒美先生が葛西南高校から、英語の西淵知先生が足立新田高校か

ら、現代社会の岡田恵吾先生が江東商業高校から、世界史の佐々木巧先生が足立工業高校から、数学の永倉悟先生が第一商業高校(定)から、体育の矢作洋先生が城北高校から、日本史の田嶋昌治先生が水元高校からそれぞれ着任されました。

(二) 進路状況 (浪人も含む)

63年度

国立大学	3	106	5
私立大学	31		
国立短期大学	3		
私立短期大学	99		
専修各種学校	40		
就職(含公務員)	31		
合計		284	名

(三) 学校行事

一学期の行事も無事終わりました。陸上競技会(6月16日)では小雨模様の中、教室とは一味違う生徒の元気な姿が印象的でした。第17回を向かえた合唱祭(6月21日)では、全体的なレベルの向上が見受けられました。優勝は3年6組で、入賞(6位まで)は3年4クラス、2年2クラスでした。二学期には向陵祭(9月23・24日)体育祭(25日)が行われる予定です。11月には2学年が修学旅行で瀬戸内海を含む関西方面に行く予定です。

担当 太田垣光宏教諭

根づいていた

愛校心

第八期(昭31年卒)

山本 越子

(旧姓 福永)

同窓会(やよい会)の仕事を手伝うようになり、向丘を訪れる機会が多くなった。校舎、校庭のたずまいは卒業の頃の面影はなくなっているが五十路を歩み始めた

頃、やはり母校は懐かしい。あの頃はいつぱしに世間を知り、人生を達感しているつもりだった。その一方で、自分はこれからどう生きたいのか、他人はどんなふうか、私を見ているのだろうか、そればかりが気になっていた。もう指折り数えるのも恥かしいほど遠い日のことである。

昔の自分をふり返ると、若い人のすることが素直にやわらかく受け止められるから不思議である。

現在私は都立の職業技術専門校の和裁科で講師をしている。高校を卒業してすぐの生徒や、社会人を何年か経験した転職志望組、と年齢も環境もまちまちの人間が一年間技術訓練を受ける。入校時の緊張も少したつとなごみ、会話が始まる。糸口は出身校の話。そこで母校の名が出ようものなら、ず

つと以前からの知り合いのように話に花が咲く。ふだんは気づかないが愛校心が頭をもたげるのだろう。

この会報がそんな折の情報を提供出来るようになれば目的の一つは果たされたことになる。時の流れの中で各々の意識を同じに持つことは難かしい。だが、ふと思いつ出したとき、手を伸ばせばすぐ身近かにいる「やよい会」になれるよう発展させていきたい。

八年ぶりの同窓会参加

第32期(昭55年卒)

里見 見千子

(旧姓 古米)

「同窓会の幹事を決めます」と言った伊藤宣子先生と目が合い、一年間幹事の仕事をした。その後は自分のことで精一杯になり、幹事であることも頭のスミから消えかかっていたのに……。

八年ぶりに向丘高校同窓会の便りを受け取った。仕事の都合もつき、ずっと忘れていた幹事であることの責任も少し感じて、やよい会の手伝いをするようになった。

卒業したての同窓会は、見慣れた校舎で友人や先生方に会う、それが不思議ではなかった。歳月が過ぎ、再び同窓会に出る

とずいぶん変わっていた。きれいになった体育館、見知らぬ先生方、新卒の若者がはしゃいでいる。そんな中で、懐しい恩師の変わりない様子を知ってようやく一安心。自分の高校時代とは違う母校を見て、自分自身も変わったことに気づいた。

卒業の年、向丘での三年間は一体何だったのか、と自分自身に不満が残っていた。けれども、高校時代に始めた茶道や、歩き回った文学散歩が今でも趣味として続いている。また、高校生活の思い出が今の自分に役立つことも多い。そんなことを思い浮べて、ようやく、向丘で良かったと素直に言えるような気がした。

向丘高校「やよい会」の発展を願って、微力ながらその一助になりたいと思っている。

雑感

(大会初参加から)

平成元年卒

吉橋 美樹

こんなにステキなプログラムなのに……

こんなにステキなお料理なのに……、こんなに人が少ないのでしよう!?やはり、知る人ぞ知るで、あまりなじみがないからでし

よう。もつと／＼PRして、そうですね、一ヶ月前くらいから、手紙出して、うん、こんな楽しいんなら、また来年もこようかなって思うようにしたいと思いました。あと、ハガキが広告っぽくて、読まずにすたという人がいたので、大変かもしれませんが手描きで、それが大変なら普通ハガキに印さつするetc.。とにかく広告っぽくないようにしないと。校章のマークなんかいれると思いました。

統一名簿発刊記念

定期同窓会総会・懇親会のご案内

日時：平成2年4月29日(日)午後1:00~4:00
場所：母校体育館
会費：¥1,500—
(但し、元年3月・2年3月卒業生は¥1,000)

お料理、飲物、ゲーム大会、大抽籤会等

各期毎にこの機会を生かして母校で集会をもとう!!
お申込はハガキ等で事務局又は会長宅までお願い致します。

新幹事の諸感想

感無量の司会役

平成元年卒

林 秀 則

幹事の仕事と言えば、誰もやりたくない仕事だ。僕だってただの幹事だったら、やりたくはなかった。ただ、向丘校の幹事は、ありふれたものではない。向丘という学校には、他の学校にない楽しさがある。明るさもある。いつも新鮮な風が吹いていた。僕もその風を受けながら、楽しい時を過ごした。そんな向丘のすばらしさを知った、卒業生が幹事をしているのだから、又、一極輝いているぞつと言っ分けた。そして、僕等の担任になった野村健一先生も、すばらしい人でした。しつこいようですが、高校時代はおかか、一番楽しかったです。

(高校は向丘しか行ってないからあたりまえなんだな、これが、) 私は、この会(同窓会)で初めての仕事として、懇親会の司会という役についたのですが、今はもう終ってホツとしているひとときです。でも、失敗せずに終ったからそれは良かったです。ハイ。

……ちつ、目頭が熱くなつてきやがったぜ。

しかし、いきなり「やよい会」についての感想を書けて言われたも、残念だが涙で前が見えねえんだ。すまん……

ただ一つ言えるのは、やよい会は形式ばってなく、アットホームな感じがとれるわけですな。さいでがしよ?

それではおあとがよろしいよう

向丘を卒業して

平成元年卒

千葉 亨二

今の僕は、まるで太平洋の真中で漂っている一艘の小舟のようである。右へ行けばよいのか、それとも左へ行けばよいのか。沢山の迷いが頭の中でひしめいている。と同時に、何をしたらよいのか分からないうちに、風の色や潮の流れによって、行く方向を決めてしまふのは簡単なことだ。が、そんな生き方はしたくない。自分の行く方向は自分で決め、自分で漕いで進みたい。それが今の自分の素直な気持である。

向丘を卒業してから三ヶ月たった。今、振り返ってみると、向丘にいた頃は毎日楽しかった。何十

年かたつて、向丘へ行つて本当に良かったなと言えらるだろうと信じたい。そのためにも頑張つて、悔いの残らないように生きて行きたい。とにかく、今は向丘に行つてよかつたと思つている。



乾盃につづいて食べくらべ

雑 感

平成元年卒

添田 啓子

母校を卒業し、まだ間もないというのに、なつかしくてたまらなく、もう二度と着ることのないあの制服をもう一度着て、登校したい気持でいっぱいです。

今回、初めて、やよい会に参加

させていただき思うことは、とても楽しかつたということです。すばらしいごちそうは食べきれないほどでしたし、クイズでは、すばらしい賞品が出され、ご出席なされた方々もお喜びのようでした。来年の「やよい会」はぜひ多数のご参加を希望いたします。

雑 感

平成元年卒

照井 尚美

向丘高校を卒業してはじめての同窓会に幹事として参加してみたい人数が集まらなかつたなあと思っています。あんなに豪華な料理なのにそれに楽しくすごせる企画が、いっばいなのに、それを知らずに、ただ、歴代の同窓会というだけで、きにくかつたのだと思います。

いまだに向丘を卒業した気分ではない私ですが向丘の思い出は数えきれない程あります。本当に恵まれていたと思つています。

学年の担任の先生たちは、もちろん、他の諸先生にも、お世話になり感激しています。

幹事の抱負

平成元年卒

佐藤 富彦

私は、大学の都合で最初の幹事会にも、四月二十九日の総会にも参加できませんでした。大変、残念に思います。やっと今回初めて役員幹事の打ち合わせに参加させて頂きました。

母校である向丘高校を卒業して三ヶ月が過ぎましたが卒業アルバムを見ると高校生活がとても懐しく思います。部活のOBとして高校を訪れた時も学校が第二の故郷のように、落ち着きました。これはやっぱり三年間、楽しく行けたからでしょう。

でも、今では、このような同窓会があることによって仲の良い友達に会えるのはとても楽しみです。それも、同窓会を運営できる幹事になれたのでよかったです。大学の都合で打ち合わせに出席できない時があるかもしれませんが、よろしく願います。

仲間のひろば

新山忠先生と

拡大CCC会

同窓生のみなさん、お元気で日々、御活躍の事と存じます。

先日、同窓会会長の小川力洋氏から、昭和三十一年卒業（第八期生）の私達が、恩師新山忠先生と年一回、新山会を開催し、当時の思い出等を語り、旧交を新たにしている事を記事にしてほしいと云われ、筆を持った次第です。

ことのおこりは六十年五月二十六日上野タカラホテルで同期会が開かれ全六クラスと各先生方にお呼び掛けをして卒業生百十八名先生十名が参加しました。

その幹事さん方が三十年の歳月の私達同期の消息をさがし名簿を作成した、大変な御苦労のたまものと感謝しております。

今、その苦労がむくわれ、年も忘れ、先生ともども若い時代にもどり、深い感慨にひたります。

新山会は、そんな中から一部の有志によって創立されました。すでに五回の会合が持たれ、年々、参加人員も増加しています。

今年も去る五月二十七日池袋海鮮問屋にて二十二名が出席し、先生のお元気なお姿を見ながら楽しい時をすごしました。女性の方々も家庭を忘れ、二次会にまで出席いただきました。

年一回ですが新山会を新山先生と共に長く守りたいと思います。

第八期
昭和31年卒

幹事

小林 秀行
塚本トメ子記



新山会(池袋海鮮問屋にて)

(五月二十七日)

田中修先生を

囲んで(三D)

昭和三十二年卒業の三年D組のクラス会が、第六回目として行われました。

当日は田中修先生(当時の担任教師)をお招きし、卒業生五十一名のうち十六名が出席して旧交を暖め合いました。

最初に田中先生の「このクラスはこの十年間に六回もクラス会が持てて毎回思うことだが諸君と会えることを大変嬉しく思っている」とのご挨拶があり、その後幹事代表の藤木美子さんの軽妙な司会で各人の卒業後の仕事や家族、趣味等をまじえた自己紹介が行われました。

最初は顔と名前が一致しなかったりした場合もあったが、すぐ三十一年前の高校時代に戻り、先生を囲んでの懇談が時を忘れて行われました。

遠くは仙台市より初参加してくれた当時フェンシングをやっていた谷本和江(旧姓杉山)さん、当時のままで月日のみ数えたと思われる彼女でした。

その後先生と一緒に場所を移し希望者によるカラオケ会が盛大に行われ、午後十二時過ぎ名残りはつきなかつたが、後日の再会を約し散会しました。

昨年六月十一日(土)午後五時、七時三十分京王プラザホテル42階武蔵の間において、向丘高等学校

平成元年七月十四日
第九期32年卒 櫻井 弘清記

昭和63年度会計報告及び平成元年度予算

区 分	63年度決算	平成元年度予算
☆収入の部	(円)	(円)
入会金	(381人) 1,143,000	(370人) 1,110,000
総会費(当日会費)	97,500	90,000
雑収入(利息外)	13,374	12,000
繰越金	2,773,070	3,330,468
収入合計	4,026,944	4,542,468
☆支出の部		
交通費	11,500	50,000
通信印刷費	110,680	30,000
会議費	60,230	80,000
総会費	475,196	500,000
渉外費	16,950	30,000
慶弔費	7,620	20,000
雑費	14,300	
研究活動費		200,000
予備費		102,000
名簿委託負担金		1,500,000
支出合計	696,476	2,512,000
次年度繰越金	3,330,468	2,030,468

◎上記の通り決算報告致します。平成元年4月29日
 会長:小川力洋 会計:荒川雅司・古米見千子・樋口二仁江
 ◎監査の結果過誤なきことを認めます。平成元年4月29日
 会計監査:石山彼早子・足立朋彦



先生、役員、幹事諸氏外(校長室にて)

「やよい」について
 当同窓会は、平成元年4月29日の総会で会の略称を「やよい」と決めました。「やよい」とは、校歌の歌詞の唄い出しの頭です。又、向丘弥生という土器の発掘の地にもあやかったものです。会報の名称にも使いました。

(一)同窓会会員並びに関係者の慶弔についてご連絡をお願い致します。事務局(学校気付)又は、役員まで。
 (二)努力目標 二、三〇〇部です。

同窓会役員一覧

(除物故者)

- 顧問
 石章二郎 歴代校長
 佐々木正男 "
 藤黒 正明 "
 金井 量二 "
 原 隆男 "
 平塚寛次郎 "
 名誉会長
 新城 昇 校長
 参与
 福島 勉 事務局長
 山口千鶴子 教頭
 小野 正喜
 春山 隆男
 水山 清
 渡辺 節子
 川口 政利
 太田垣光宏 事務局担当教諭
 会長
 小川 力洋(31年卒)
 副会長
 三田 昌男(31年卒)
 清水克多郎(48年卒)

- 会計
 荒川 雅司(30年卒)
 里見見千子(55年卒)
 (旧姓 古米)
 樋口二仁江(59年卒)
 書記
 山本 越子(31年卒)
 (旧姓 福永)
 岩崎 京子(34年卒)
 (旧姓 吉田)
 会計監査
 石山彼早子(34年卒)
 (旧姓 佐伯)
 足立 朋彦(48年卒)
 幹事

各学年の代表者※お願い、本部に各位の記録、登録が確認されております。これを機会に各期の代表者・幹事諸氏、又は、お手伝い頂ける方は会長までお申し出下さい。

- 協賛広告にご協力下さい。
- 特別頁 一〇〇、〇〇〇円
- 全一頁 五〇、〇〇〇円
- 1/2 頁 三〇、〇〇〇円
- 1/4 頁 二〇、〇〇〇円
- 不明者でご存知の方は必ずハガキ返信にてご協力下さい。
- 協賛広告にご協力下さい。
- 努力目標
- 一、五〇〇、〇〇〇円です。
- 名簿ご購入にご協力下さい。
- 一冊 四、〇〇〇円(送料含む)

事務局からのお願い

(一)本年度の大目標である名簿発行に際し、皆様のご協力をお願い申し上げます。